

会議のトピックス(I)

日本原子力学会 2004 年春の年会
核データ部会企画セッション
「我が国の核データ測定施設の展望と世界情勢」

核データ研究においては実験データが基礎となるが、今後の我が国においては、測定施設の老朽化及び研究者の高齢化等にともない、核データ測定活動が停滞していくことが危惧される。この様な状況において、我が国の代表的な核データ測定施設の今後 5 年間程度の測定活動予定及び海外測定施設や HPRL (High Priority Request List) の情勢を把握することは、核データ部会の戦略的活動計画を策定する上で重要と考えられる。また、講演者とセッション参加者が一緒になって今後の核データ測定活動の活性化方策について意見を交わすことも重要と考えられる。この様な観点から、標記企画セッション(総合講演)を下記の要領で開催した。次頁以降に、5 件の講演内容を掲載する。

(核データ部会企画担当運営委員：井頭政之)

日 時： 2004 年 3 月 30 日 (火) 15:00~17:00

会 場： K 会場

座 長： (京大炉) 小林 捷平

講 演：

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| (1) 東北大における核データの実験的研究 | (東北大) 馬場 護 |
| (2) 東工大施設における核データ測定の展望 | (東工大) 井頭 政之 |
| (3) 京都大学における核データ測定の展望 | (京大炉) 中島 健 |
| (4) 海外施設における中高エネルギー核データ測定の情勢 | (九大) 執行 信寛 |
| (5) 原研施設における核データ測定の展望と HPRL の今後 | (原研) 深堀 智生 |

コメント：

(サイクル機構) 原田 秀郎、(名大) 清水 俊明、(阪大) 高橋 亮人
ディスカッション： 参加者全員